

ふくろうビパーク

【ねらい】 夜の森に入り、じっとあたりの様子に耳を澄まして静かに過ごすことで、森のさまざまな生命からメッセージを自分なりに読みとり、森と向き合う感性を引き出します
また、暗闇は不安や恐怖がつきまといますので、仲間との共通体験を持つことによって仲間意識も高められます

【時間】 1時間程度

【活動場所】 ふれあいの村内（散策路など）

【応用例】 ◇ナイトハイクの途中のポイントとしておこなう
◇課題を実施する

【進め方】

事前準備

①実施場所の下見をします

- point
- 足下の危ない場所はないですか？
 - 道に迷いそうなところはありませんか？
 - 緊急時の対応はできそうですか？

- ②スタッフの配置や、実施時間などを検討します
③緊急時の連絡方法を決めます
④参加者にあわせ、設問を用意します
⑤ふりかえりシートを作成し、グループの数分コピーします

①ルールやマナーを説明します

- point
- 話をしない
 - その場に行ったら、懐中電灯の明かりを消す
 - 暗さに耐えられなくなったら、合図を出す
 - 指定時間を過ぎてもスタッフが行くまで動かない など

実施の流れ

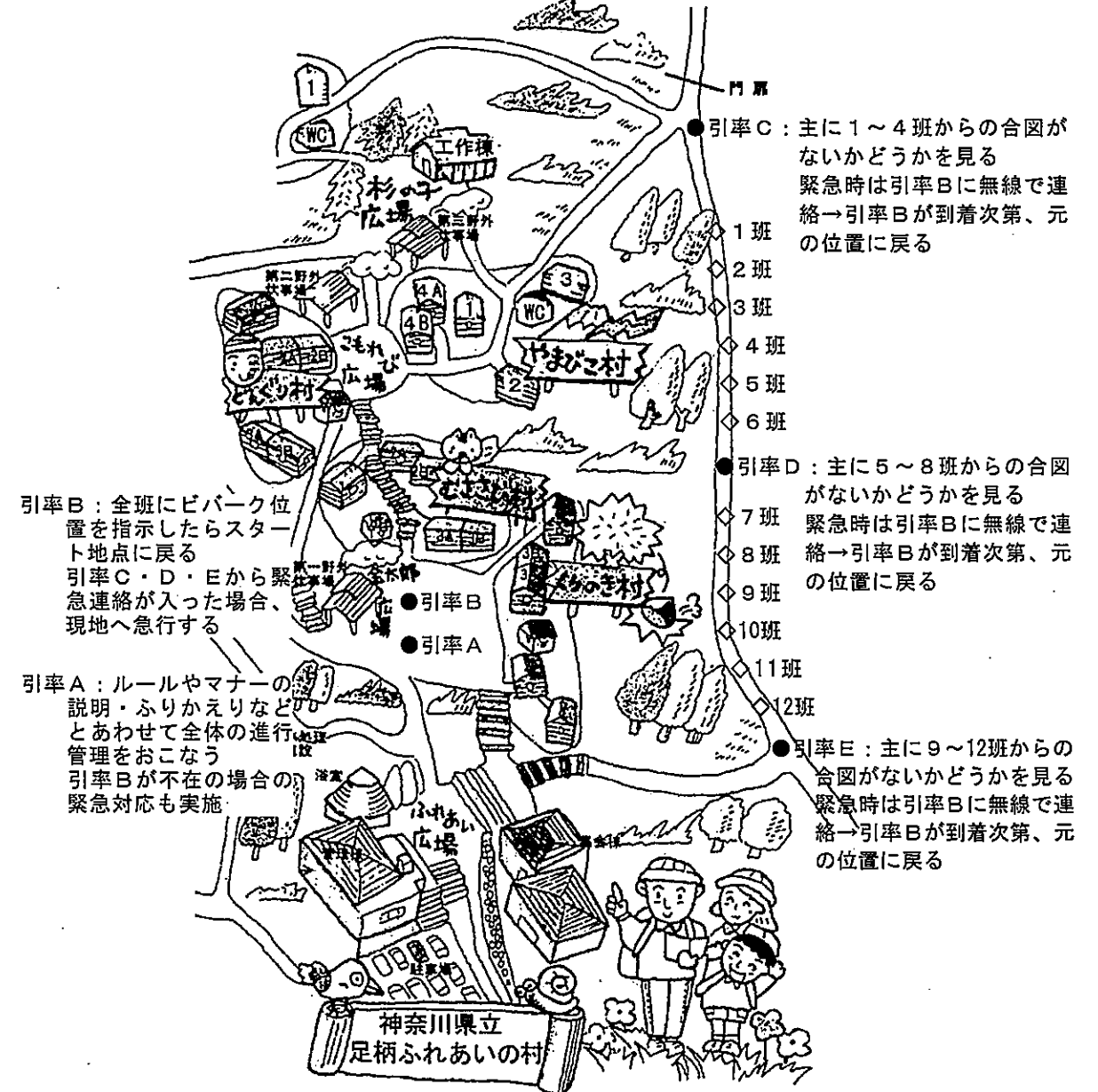
- ②ビパーク位置までスタッフが誘導します
③あらかじめ決めておいた位置まで連れて行き、座らせます。
～実施～
④時間になったらスタッフが終了を伝えに回ります
⑤全員がそろったらふりかえりをします

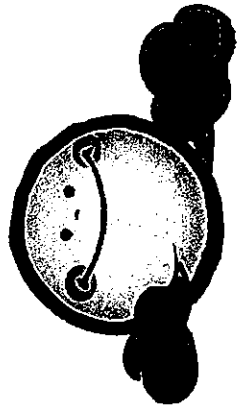
- 課題の発表
- 自分が実施してみて感じたこと
- 他のグループの意見を聞いて感じたこと など
- ※ふりかえりシートは張り出して全員が見られると良い

【実施例】 小学校5年生 児童72人(6人×6班×2クラス) 引率5人
実施時間1時間の場合

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 引率A 全体の進行管理・緊急対応(第2陣) | 引率C 誘導(先頭)・現地待機 |
| 引率B 位置指示・緊急対応 | 引率D 誘導(中間)・現地待機 |
| | 引率E 誘導(後尾)・現地待機 |
- ※全員、無線機・懐中電灯所持

引率Aがルールやマナーについて説明
引率C→1～6班→引率D→7～12班→引率E→引率Bの順番で出発
引率Bが12班から順番にビパーク位置に座らせる
引率E・D・Cは誘導しながら、自分の現地待機位置に立つ
引率Bは全班をビパーク位置に着かせたらスタート&ゴールに戻る
～実施～
引率Bは12班を座らせてから30分たったら、同じルートで、終了を伝えに行く





ふくろうピバーク ～課題とふりかえりのシート～



②「木のことば」

「木」はどんな命をくれるのかな？「木」は何を語ってくれのかな？
絵や言葉で表現してみよう！タイトルは「木のことば」です

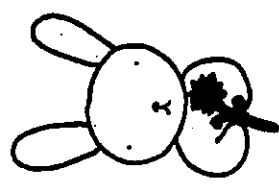
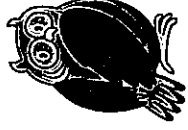


①「森の詩」

テーマを「森の闇」とし、
俳句を作ろう

③「フクロウの心」

森にはフクロウが住んでいます。「森に出ておいで！」「街に姿を見せてあげたら！」
と呼びかけても出てきません。フクロウの立場になって、思いを絵とセリフで
表現してみよう



④「自分の声」

今の素直な気持ちは？